

# ネットワークセキュリティ技術

後沢 忍\* 板垣寛二\*\*  
馬場義昌\*  
松井 充\*

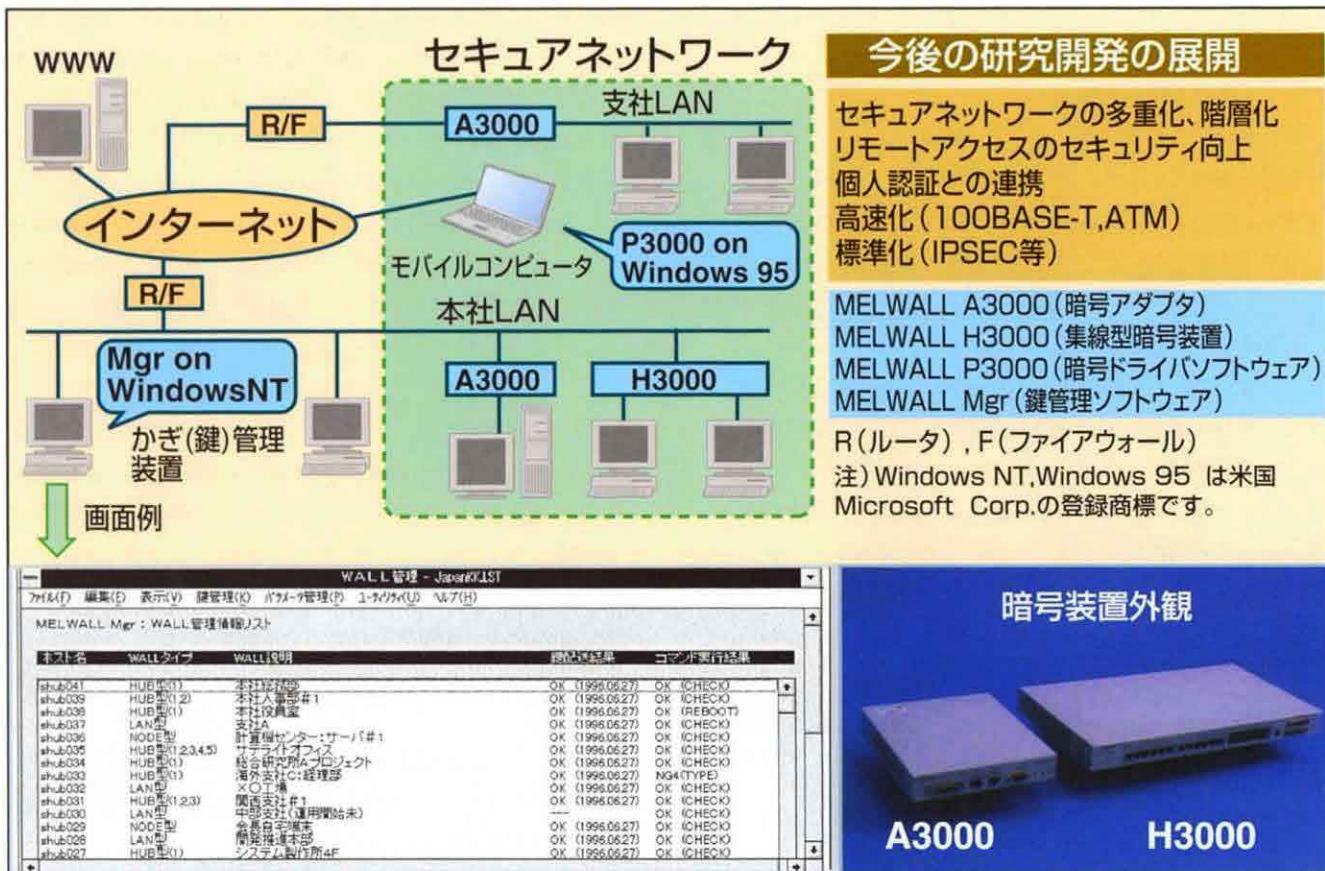
## 要旨

LAN やインターネットの普及により、ネットワークシステムはこれまでにないセキュリティ上の脅威にさらされている。LAN 上を流れるデータは、市販のパソコンとソフトウェアで容易にデータを盗聴できる。インターネットは多様な組織にわたるオープンなネットワークであり、データの安全性についてだれも保証してくれない。このような状況において、盗聴や不正侵入からユーザを守る、安全なネットワークの実現が急務となっている。

三菱電機㈱では、ネットワーク暗号装置の開発によって安全なネットワークを構築するシステム技術を実現し、三菱ネットワークセキュリティシリーズ “MELWALL” として製品化した。ネットワーク暗号装置は、ネットワーク

とコンピュータ機器の間に設置され、暗号かぎ(鍵)をグループ共有することにより、外部からの盗聴や不正侵入から守られたセキュアネットワークを構築する。これにより、これまで実現が難しかった広域にわたる安全なネットワークが可能になった。このシステムは、既存のネットワーク機器やアプリケーションに影響を与えずに導入することができる。また、設定により、セキュアネットワーク外の端末とも安全な通信が可能である。

今後は、セキュアネットワークの多重化・階層化や個人認証機能との連携など、インターネットにおける次世代のプラットフォームの構築に向けて研究開発を行っていく。



## セキュアネットワークの構成例

ネットワーク暗号装置によって、本社の一部と支社及びモバイルコンピュータが一つのセキュアネットワークを構築している。外部の端末は盗聴や不正侵入ができない。セキュアネットワーク内からはインターネット上のWWW等にアクセスすることができる。鍵管理装置により、暗号鍵の配送等のリモート管理が可能である。